

『池川展』

～熊野の山村を見つめ直す～



梅の花が咲き始めた早春の集落。ここは熊野市有馬町の‘池川’という地域です。梅林の周辺にはスミシなど、かわいらしい春の花が咲き始めています。池川にある薬師堂は目や耳など腰から上の病に効くといわれ、かつては参詣者で賑わいました。また、腰から下の病に効くというマナイタ様には、熊野の原始信仰を感じます。

写真は池川の棚田です。山から引いた水が手作りの水路を流れ田畑に潤いを与えています。真柏しんぱくとよばれる盆栽で人気のミヤマビャクシンがよく育ち、生活道具に欠かせなかったシュロの木も見えます。日本のどこにでもあったおだやかな山里の風景ですが、山の上から下の町まで続いていたという棚田は、人口の減少に伴い植林によって面積はわずかになりました。



さて、現在 15、6名ほどが暮らしておられる池川ですが、この集落の方々、暮らしのなかで特に自然を生かした造形物を楽しんでいらっしゃいます。素材は木、竹、藁、瓢箪などです。今回、数名の方からそのステキなお部屋飾りを少しお借りすることができました。この展示を通して池川流、自然を生かした暮らしの楽しみを覗かせてもらいましょう。

展示期間中には池川に在住の中森増穂さん（84歳）による講座、『藁蓑作り』を開催いたします。消えゆく伝統の技を引き継ぐ催しです。こちらもどうぞご見学ください。お待ちしております。

展示期間：平成20年3月7日（金）～平成20年3月20日（木）

9：30～17：00 まで

場所：紀南ツアーデザインセンター内【入館は無料です。どうぞお気軽にお越しください。】

講座案内：とっておきの熊野 ふるさとの伝統の技術体験講座 その八

『藁蓑（わらみの）作り』～消えゆく伝統の技を引き継ぐ～

第一回 平成20年3月12日（水）・第二回 平成20年3月19日（水）

※詳しくは案内書を御覧ください。